

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】専門演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	木野村 嘉則	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
専門演習Ⅰに引き続き、専門演習Ⅳにて卒業論文・ゼミ論文を完成できるように準備を行う。研究や論文の執筆は各自のペースで取り組むこととなり、授業外での計画的な取り組みが求められる。専門演習Ⅱでは関連文献の詳読や、データの収集から解釈までの実習を通して、自身の研究テーマについて発表し研究を進めていく。そのために、専門演習Ⅰに引き続き、授業外で計画的に取り組み、締切に対して有意義な成果発表ができるよう時間の管理を学びながら、プロジェクトを推進する能力を養う。

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式(含ディスカッション・プレゼンテーション)にて行う

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	この演習の目標	この演習で学習する内容の概説を説明する	☐
第2回	研究課題の設定方法	研究課題の設定方法について担当者のプレゼンテーションの後にディスカッションする。	☐
第3回	コーチング学論文抄読(1) (スポーツ動作の分析)	課題としたバイオメカニク的に動作分析を行った論文をトレーニングの構造モデルに即して発表しディスカッションする	☐
第4回	スポーツ動作の測定	スポーツ動作の測定法を実習する	☐
第5回	コーチング学論文抄読(2) (スポーツの測定評価)	課題としたスポーツパフォーマンスの測定評価に関する論文をトレーニングの構造モデルに即して発表しディスカッションする	☐
第6回	測定データの解析	測定した動作からデータを抽出する	☐
第7回	コーチング学論文抄読(3) (ゲーム分析)	課題としたゲーム分析に関する論文をトレーニングの構造モデルに即して発表しディスカッションする	☐
第8回	測定データの分析	抽出されたデータを分析する	☐
第9回	コーチング学論文抄読(4) (トレーニング事例)	課題としたトレーニング事例報告に関する論文をトレーニングの構造モデルに即して発表しディスカッションする	☐
第10回	測定データの解釈・評価	測定したデータの解釈と評価を行う	☐
第11回	コーチング学論文抄読(5) (スポーツ運動学)	課題としたスポーツ運動学的に考察を行った論文をトレーニングの構造モデルに即して発表しディスカッションする	☐
第12回	スポーツ動作の測定に関するレポート作成	測定したスポーツ動作に関する報告レポートを作成する	☐
第13回	研究課題のプレゼンテーション	ゼミ論および卒業研究で取り組みたい研究課題についてプレゼンテーションと議論を行う	☐
第14回	研究課題のプレゼンテーション	ゼミ論および卒業研究で取り組みたい研究課題についてプレゼンテーションと議論を行う	☐
第15回	学部行事 ゼミナール大会への参加	ゼミナール大会に参加し、研究成果について議論を行う	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
指定された回までにゼミ内での発表にふさわしい分量と内容のレポートの作成を進めることができるようにテキストや授業で用いる資料を予習してくる（2時間程度）。授業時間外にも研究室を訪問する等して、適宜指導を受けながらレポートの作成を進めていく（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の授業にて、作成してきたレポートやレポート内容のプレゼンテーションに関して解説することでフィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018人間健康DP2	先行研究を基に、研究テーマ設定にふさわしい問題点を定義し、研究方法について検討できるようになる 研究計画を立案し、立案した計画達成のタイムスケジュールを設定しながら研究を推進できるようになる

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	30%	70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

各回の授業でのディスカッションに必要となる資料の作成

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	井聡樹『これから研究を始める高校生と指導教員のために』 共立出版	4320005910
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	出村慎一『健康・スポーツ科学のための Rによる統計解析入門』 杏林書院	4764411423
2	田中喜代次・西嶋尚彦監訳：『身体活動科学における研究方法』 ナップ	4931411398
3		
4		
5		